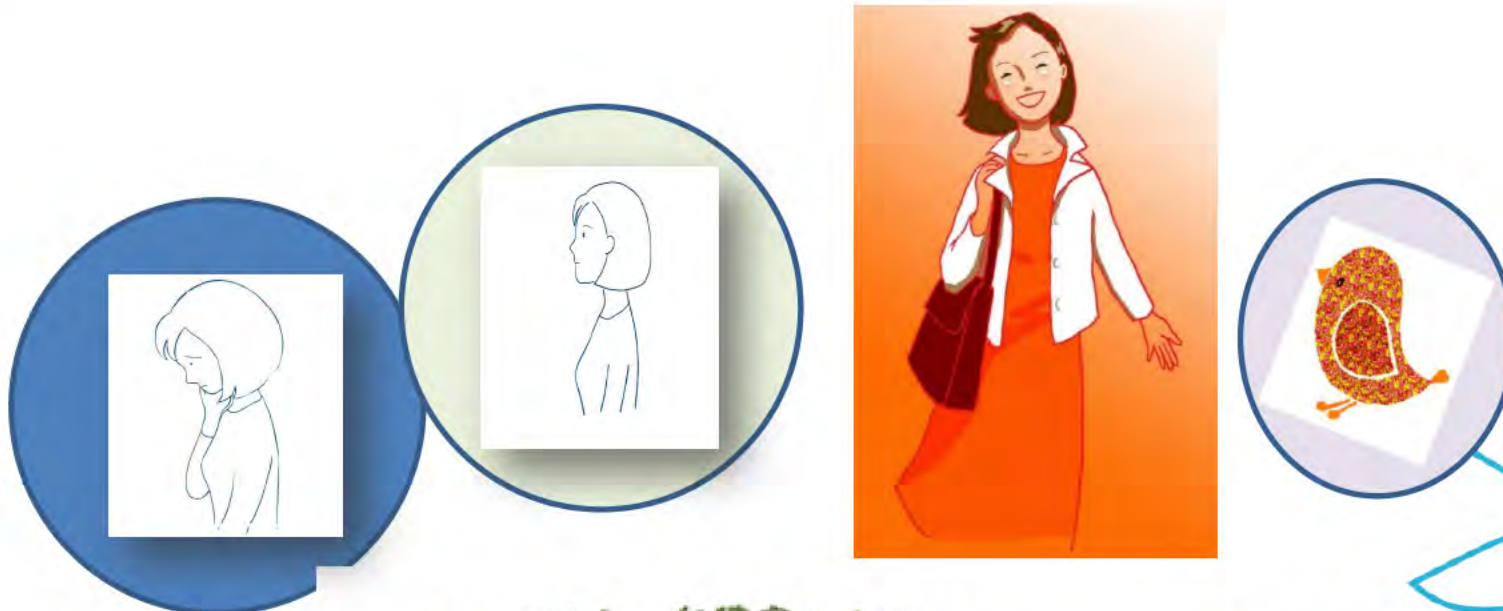


2021年7月13日

つながりを取り戻し 「人生の再構築」をはかるために



NPO法人 女性ネットさやさや
Saya-Saya 

ご支援のお願い

暴力のない未来のために、あなたに合った方法でご支援いただくことができます。

- ・寄付で支援
- ・自分の時間や持っている知識/スキルで支援
- ・Saya-Sayaや女性たちが作った品を買って支援
- ・物資を提供して支援
- ・地域で共感者・理解者になって支援

寄付受付先

郵便振替

郵便振替口座記号番号: 0551111

郵便振替口座名: 女性ネットSaya-Saya

銀行・コンビニATMから

ゆうちょ銀行 支店番号: 019

預金種目: 当座預金

口座番号: 0551111

口座名: 女性ネットSaya-Saya

Saya-Saya賛助会員募集中

ニュースレター、各種講座の参加費割引などの特典が受けられます。

個人 年間: 6,000円

団体 年間: 30,000円～

企業・行政の皆様へ

CSR(社会貢献活動)や法人会員ほか、さまざまな支援方法があります。

詳細はHPをご覧ください。

<https://saya-saya.net/>

DV(配偶者等からの暴力)とは

殴る蹴るだけが暴力ではありません。
DVには以下のような事例があります。

- 物を投げつける
- 交友関係やSNSを厳しく制限する
- 生活費を渡さない/外で働くことを禁じる
- 避妊に協力しない
- 暴言を吐く/何を言っても無視する

etc.



無料電話相談

月曜日 午後6:30～8:30
03-6807-8442 / 03-6807-8443

木曜日 午後2:00～4:00
03-6807-8443

金曜日 午後1:30～3:30
03-6807-8442 / 03-6807-8443

※有料カウンセリングは金額応相談

NPO法人 女性ネットSaya-Saya

お問い合わせ先

TEL : 03-6807-8442 / 03-6807-8443
FAX : 03-6807-8442 / 03-6807-8443

HP : <https://saya-saya.net/>
MAIL : saya3@sa6.gyao.ne.jp

DV被害者の自立支援活動



Sayaは、インドネシア語で「わたし」。

自分を取り戻し、社会的なつながりを取り戻す。

私たちは、DV被害者の人生の再構築を

目的とした活動を行っています。

私たちは、すべての人が互いに尊重される、DVや暴力のない未来を目指しています



DV被害女性の自立支援プロジェクト 燦(SUN)

STEP1. 現状の理解 STEP2. 心と身体の回復 STEP3. 講座 STEP4. 就労

DV等の暴力被害にあった女性たちが、自尊心を取り戻し、生き生きと自分らしく、自分の道を歩むためのプロジェクトです。

女性たちが自尊心を回復し、燦々と輝く太陽のように、社会の中で自分を確立して生きることができるよう願って燦(SUN)と名づけられました。



DV被害女性と子どものための支援プロジェクト 凜(Ring)

- ・子どもに関わる支援者のスキルアップ講座
- ・女性と子どもの夏のワーク
- ・思春期ワーク
- ・**ぴーらぶプログラム**
- ・**ぴーらぶオレンジプログラム**
- ・**てらこやミモザ**

DV被害を受けた女性とその子どもたちに対する同時並行心理教育プログラム

ひとり親家庭の子どもたちへ食事や、安全で安心できる居場所を提供します。



相談

- ・無料/有料電話相談
- ・ライン相談
- ・個別相談
- ・子どもセラピー

お問い合わせ先は裏面をご参照ください。



生活支援

- ・同行支援
- ・子育て家庭支援
- ・**ステップハウス(シェルター)**

住環境の提供や弁護士の紹介など、自立した生活ができるようにさまざまな支援を提供します。



子育てサロン

- ・ホームスタート(家庭訪問型支援事業)
- ・**子育て交流サロンami-ami**

子どもと保護者が自由で安全に過ごせるスペースです。



講座

DV被害支援者養成講座や、ぴーらぶインストラクター養成講座を毎年開催しています。

- ・**チェンジ(暴力防止ユースプログラム)「デートDV」**
- ・DV被害支援者養成講座
- ・ぴーらぶインストラクター養成講座
- ・子育て家庭支援員養成講座
- ・子どもに関わる支援者のスキルアップ講座

思春期の若者たちが、自分と相手を大切に、尊重しあえる関係の作り方を学ぶためのプログラムです。

講演開催・講師派遣のご相談について、詳細はHPをご覧ください。



Sayaは、「わたし」

わたしは、もう一人の「わたし」と、つながりをもったとき、生きる事が出来る。

自分や、まわりの人との「つながり」を取り戻し、私たちの人生の再構築を目的とした女性たちのネットです。





Saya-Sayaのミツノユメ

- **コンセプト**

暴力・差別のない社会は、
「女性が安心して暮らせる、子どもにも男性にも生きやすい社会」です。

私たちは、**地域の中**で暴力被害女性たちと子どもへの支援をすることが、暴力と差別のない、「女性と男性・人と自然」が共生する社会につながると考え、支援のネットワークを広げていくことに貢献します。

NPO法人 女性ネットこやざや
Saya-Saya 



住み慣れた地域を離れて、名前も変えて・・・ 理不尽な孤立・孤独 なぜ？

- DV/性暴力被害者が、何故住み慣れた地域を離れて、困難な生活を強いられるのでしょうか？
- こんなことになったのは、「暴力・暴言」を、本人の同意なく選んだ**加害者の責任**なのに・・・
- でも、社会の目は、言葉は厳しくて、とても耐えられない。
 - ・あなたの努力が足りなかったのではないの？
 - ・あなたにも、スキがあったのではないの？
 - ・彼も大変なのよ。許してあげては？あなたにも非があったのでは？
- もちろん、完璧な女性などいません。たとえ非があったとしてもそのような扱いを受けるのは、理不尽な人権侵害です。他の解決方法があるのに、暴言暴力を選んだ人の責任です。
しかし、社会は、加害者責任を問わず、被害を受けた女性をさらに非難し追い詰めます。
- 歴史を通じて、女性と子どもは抑圧され続けてきました。「親指より太い棒で妻を殴ってよい」親指の法は、19世紀まで受け継がれました。
- なぜ？今も、暴力が終わらないのでしょうか！
- なぜ？被害者が隠れ続けて、加害者は太陽の下で今まで通りの生活が？
- なぜ？加害行動を選ぶのをやめましょう！と、社会は言わないの？

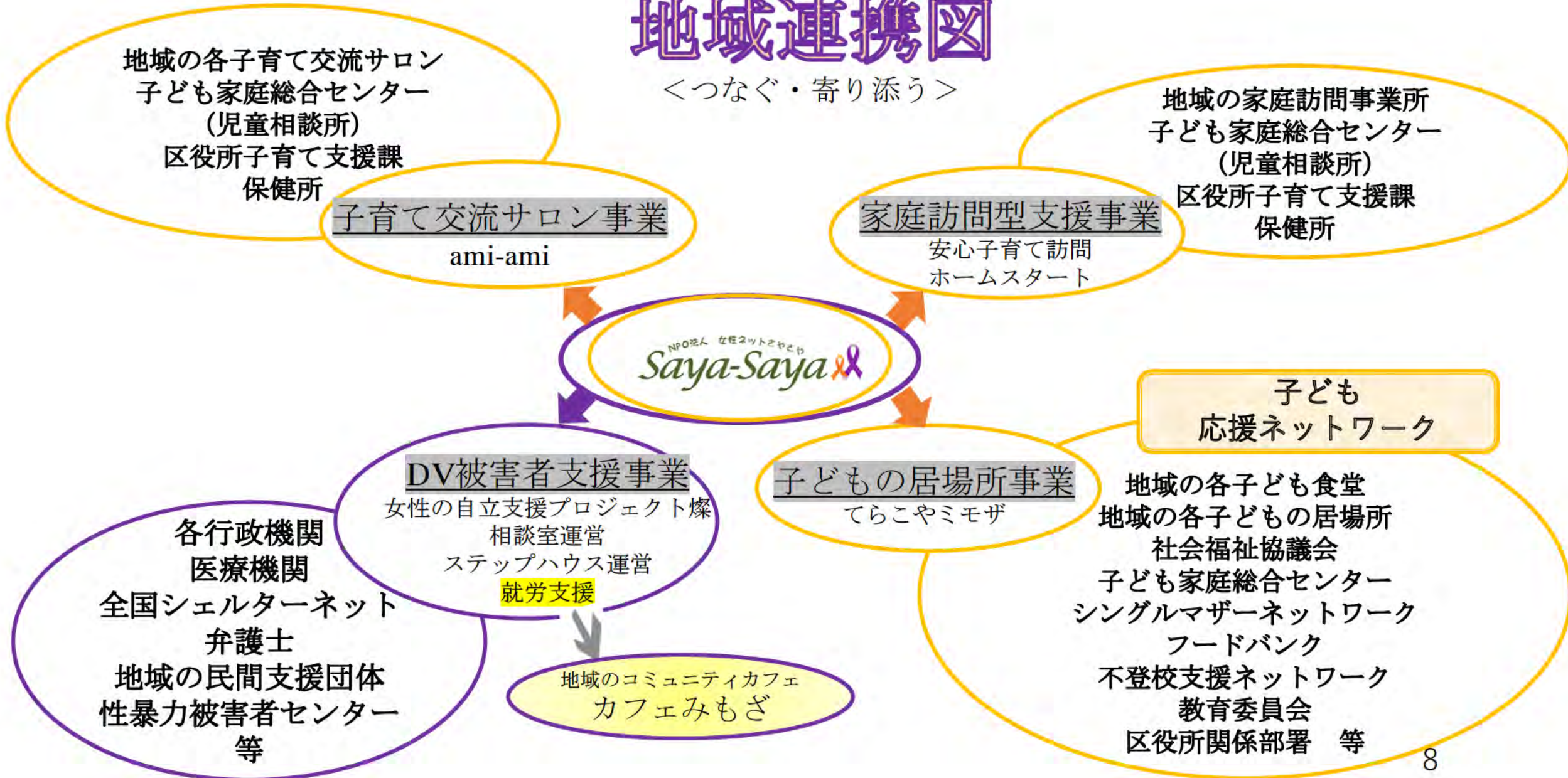


DV/性暴力被害から離れて →あらたな「つながり」までの困難さ

- 離れても続く、加害者の終わりのない支配；面会交流
- PTSD・鬱状態・乖離から回復する道のりの長さ
- 希死念慮との闘い（私なんか生きる価値がない）→社会は、私を必要としない。
- 人が怖い！ 引きこもり の中で、どうつながりを回復するか？
- コロナ期で顕著になった、DV被害女性の危機→相談ができない
- 小さな子どもを残して自死！→彼女ではなく社会の問題
- 私たちの社会は、偏見だらけ、同調圧力で人を孤立させ、死に追いやる。
- 模範的な被害者しか支援できないシステム→事実、重複した問題を抱えた大変な当事者こそ支援が必要
- 一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援が、孤立化を防ぐ。
→ライン相談・食糧支援をコロナ期に新設しました。
- 社会が多様性を受け入れることで、孤立化を防ぐ。
- そのために必要なのは、「地域の連携」

地域連携図

＜つなぐ・寄り添う＞

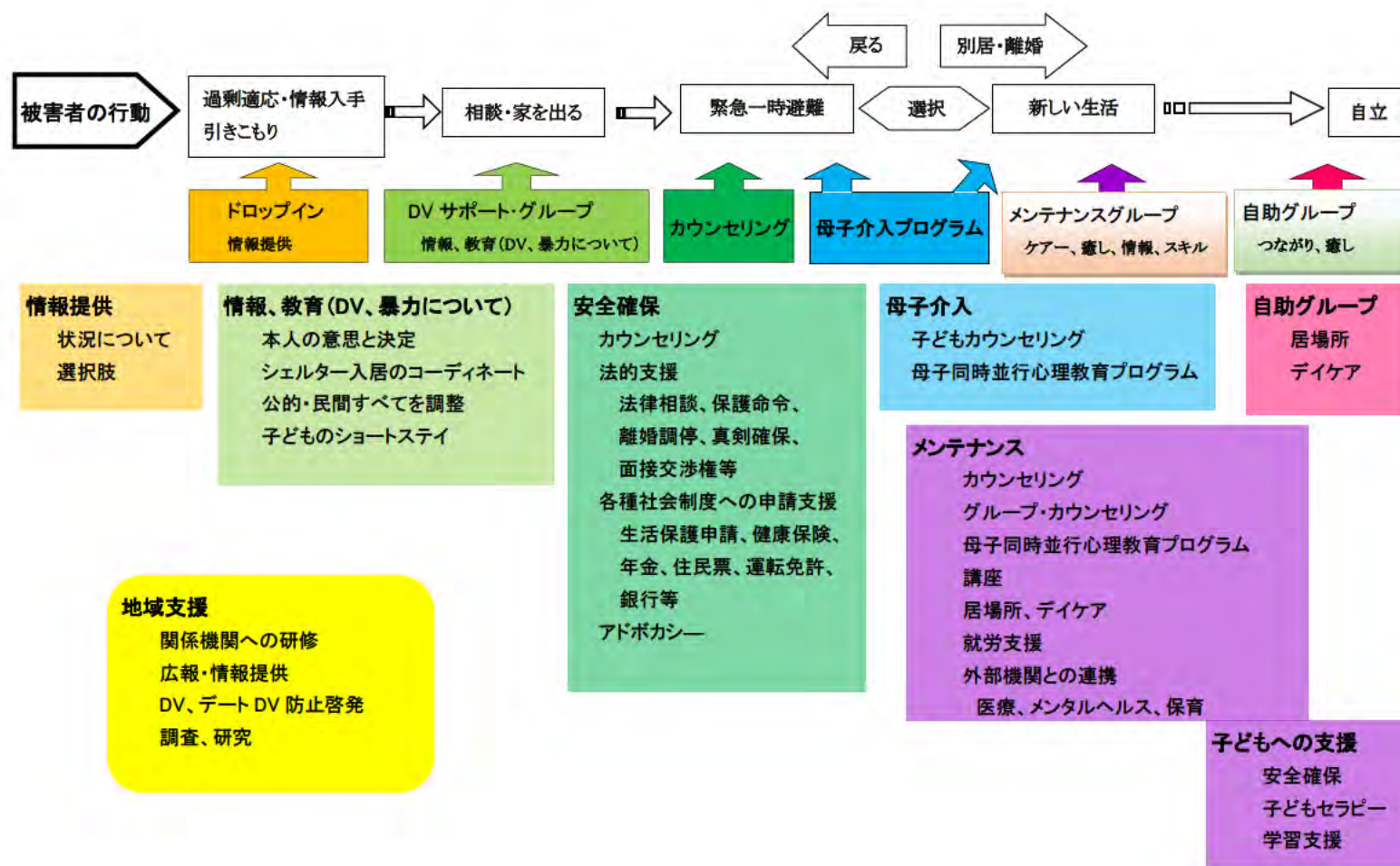




DV被害者への切れ目のない支援

当事者こそ専門家「DV被害者から支援者に！」

◆被害者支援の体系図◆





DV被害女性自立支援プロジェクト 燦(sun)の目的

DV等の暴力被害にあった女性たちが本来持っていた力
(自尊心)を回復し**燦々**と輝く太陽のように自分の道を
歩むためのプロジェクト

★DVは、女性と子どもへのマインドコントロール
解くのにには時間がかかる



<ステップ1> 気づく・安全安心を得る

<ステップ2> 心身を癒やす

<ステップ3> 自分にできることを探そう

<ステップ4> 社会参加しながらメンテナンスしよう

★リーフレット参照



- 私らしく生きることでもいいんだ
- 人と比べることはしなくていいんだ
- 困ったときは助けてもらう
- 人が困っていたら私も助けてあげたい
- 私の経験を活かすことだってできる
- 幸せを感じることの大切さ
- 自分を大切にしていいいんだ

DV被害にあった 女性と子どものための支援プログラム・凜<Ring>

Saya-Saya

りん
凜
DV被害にあった女性と子どものための支援プログラム 凜(Ring)

Saya-Saya

てらこやミモザ

ひとり親家庭の子どもたちのための
居場所づくり・学習支援・生活支援
・食事提供

小・中・高校生対象



びーらぶプログラム

暴力被害を受けた
女性と子どもたちのための
同時並行心理教育プログラム

就学前・小学生児童とその母親対象



びーらぶオレンジプログラム

施設職員や里親と
子どもたちのための
同時並行心理教育プログラム

女性と子どもの夏のワーク

暴力被害を受けた
女性と子どもたちのための
宿泊型ワークショップ

小学生児童とその母親対象



思春期ワーク

暴力被害を受けた子どもたちのための
宿泊型ワークショップ

思春期の子どもたち対象



スキルアップ講座

支援者のスキルアップを
目的とした講座

- ・海外講師招聘講座
- ・タギセンタースキル
- ・各種専門講座 他



事業の背景

DV被害女性とその子どもたちは、DV被害から離れた後も、生活困窮(貧困)の中で、PTSD等の心の傷にさらされながら生きています。加えて加害者の追求から隠れ住む状態にあるため、地域社会からも理解を得られにくく孤立しがちです。

子どもたちは、保育園や学校で二次被害に遭うことも多く、その結果、引きこもりや学習の遅れ、不登校などの問題が起きている。このように自尊心を低くされた女性たちや子どもたちには居場所が保証され、社会とのつながりを取り戻すためのプログラムが必要です。凜(Ring)プログラムに参加することにより、女性や子どもたちは自分自身に何が起きたのかを正しく知り、葛藤解決のための暴力によらないスキルを身につけていきます。

めざす成果

- * シングルマザーと子どもたちが、自信を持って自分の人生を生きることができるようになる
- * 人との信頼関係を取り戻し、自分に自信が持てるようになる
- * 虐待や貧困の連鎖を防ぐ
- * 人間関係の再構築
- * これまでの古い価値観から解放され、正しい情報提供により、葛藤を暴力でなく解決できるようになる
- * 多様性を学び、違いを尊重できるようになる
- * 社会的孤立や自死を防ぐことができるようになる
- * 支援者のスキルアップ



NPO 法人
女性ネット Saya-Saya



私たちは、子どもたちに
「あなたたちは、
社会から愛されている大切な存在」
というメッセージを届けたいと願って、
このプログラムを
「びーらぶ」(Beloved 愛されている)
と名づけました。
みなさんもぜひ、この一歩に加わって
いっしょにやっていきませんか？
暴力の無い新たな世紀を創って行くために！



低学年スタンダードプログラム（全 12 回）の内容

	子ども テーマ	子ども・母親プログラムの 共通の目的	母親 テーマ
1 回	みんな、 ようこそ	プログラム全体の確認、顔合わせをする	ようこそ ここへ
2 回	ここは、 あんしん	安全・安心を感じる	安全・安心
3 回	たたいちや やだ	人権を学び、暴力について考える	暴力と その影響
4 回	おこったとき どうする？	怒りと暴力の違いを知る。怒りを暴力以外の方法で伝えることを考える	怒りは どうする？
5 回	あんぜん けいかく	境界線を知り、安全計画を立てる	セーフティー ゾーン
6 回	こまったとき どうする？	暴力を用いない葛藤解決の方法を学ぶ	どうする、 困ったとき
7 回	うちのかぞく	安全・安心を感じる場で、暴力について話してもいいことを体験をする	DV の子ども への影響
8 回	いろんな きもち	自分の感情を表現し、他人と違っていいことを学ぶ	コミュニケー ション
9 回	いろんな かぞく	自分の思い込みに気づき家族幻想からの脱却をはかる	いろいろな 家族
10 回	わけっこ しよう	互いを尊重した対等な話し合いを学ぶ	対等な 話し合い
11 回	だいじな わたし	自尊心の回復を目指し、肯定的メッセージのシャワーを浴びる	大事な私
1 カ月後 12 回	どうしてた？	フォローアップ。一人ひとりをアセスメントし、つながりを感じる	今、これから

びーらぶプログラムをお子さんとともに受けたい方、びーらぶインストラクター養成講座を受けたい方、地域でびーらぶプログラムや、インストラクター養成講座を開催したい方等は、女性ネット Saya-Saya までお問い合わせ下さい。



ドメスティック・バイオレンスや虐待等あらゆる暴力被害を受けている女性と子ども達を支えたいと思っているあなたに…

暴力被害を受けた女性と子どものための
心理教育プログラム

びーらぶプログラム



NPO法人 女性ネット Saya-Saya

TEL/FAX : 03-6454-3983~4

メール : saya3@sa6.gyao.ne.jp

web サイト : <http://saya-saya.net/>



女性と子どもの 同時並行心理教育プログラム びーらぶ<Beloved>

- 非暴力に焦点を絞ったプログラム
- 心理教育プログラムー心理療法ではない
- 子どもと母親の同時並行
- DVは、個人の問題ではなく社会の問題である。
- 暴力の加害者責任
- エンパワメントの思想
- フェミニズムの視点
- 暴力ではない方法で葛藤を解決する方法を学ぶ





埼玉県は、県主導でインストラクター養成講座を開催。講座参加者がNPOを設立し、県の助成を受けて「びーらぶ」プログラムを実施。





てらこや・ミモザ

学習支援・居場所・食事提供(週一回)

- DVにさらされた子どもたちへのプレイセラピー
- DV家庭での、不登校、学習障害などの子どもたちへの学習支援





てらこや・ミモザ(食事提供)

「初めて笑って食べた！」



- 和食を中心とした薄味メニュー。
- 管理栄養士、調理師、参加する子どもの母親被害女性などによる手作り。
- 食材は購入・寄付(フードバンク・社会福祉協議会などより)
- 子どもは小学生から高校生、おとなは20代～60代の男女。
- 様々な年齢・背景を持つ人たちで食卓を囲む食事中的おしゃべり。



【思春期の子どもたちのワークショップ】

- 二泊三日でびーらぶの同窓会のような感じ
- 子どもと支援者のみ

これまでのプログラム

- 「デートDV」予防講座
- セルフディフェンス(自己防衛術の実演)
- あなたを支える社会の仕組みを知る(社会資源を知る)
- オリジナル鍋料理を作る(買い物リスト、買い物、準備・・・)
- 多様性と分かち合い(目の不自由な人と絵を鑑賞するには?)
- 思春期のころとからだ
- スマホの安全な使い方
- キャンプファイヤー
- チームによるオリエンテーリングなど





NPO法人 女性ネットとれぽり
Saya-Saya 
LINE相談

LINE相談してみませんか？



つか
友だち追加からスタート！



暴力防止・ユースプログラム 「チェンジ」



高校や、大学などで、
デATINGDV・
依存症などの
レクチャーと
グループワーク



← 荒川区竹の台高校生と作成したDVD



新たな支援者の養成

- 被害者から支援者に！
- 子どもたちも、次の子どもたちを支援する、お姉さん、お兄さんボランティアに！

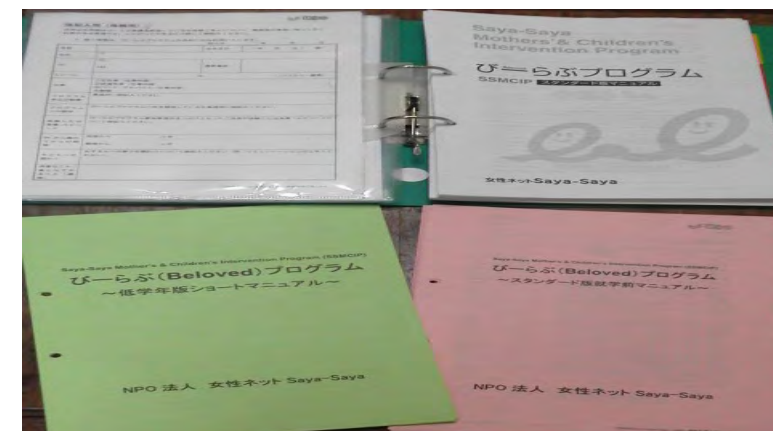
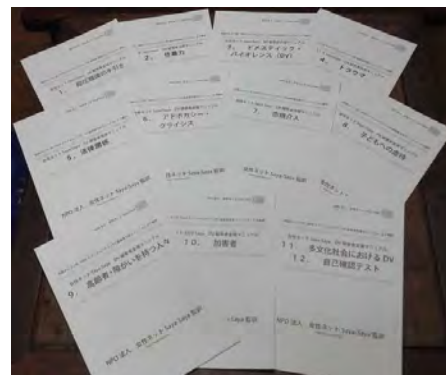
DV被害女性支援者養成講座

(全11回・22時間)

アメリカ・オレゴン州のNPOで使用しているマニュアルを翻訳した、体系的なSaya-Sayaオリジナル・マニュアルを使用。

びーらぶインストラクター養成講座

(6日間・全36時間)





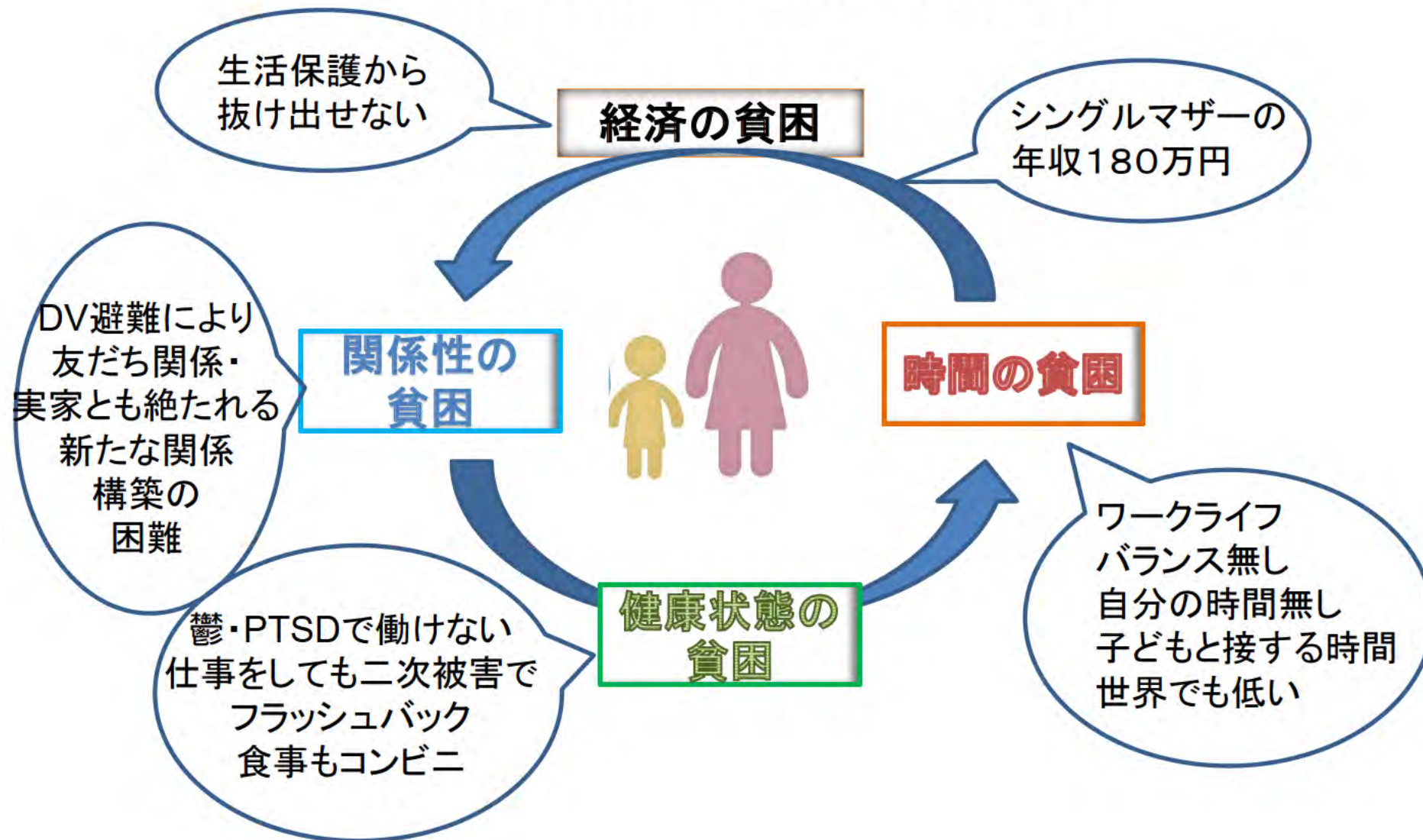
女性と子どものサポートとして 「訪問事業」開始

- 秋・養育困難な家庭への訪問支援員 養成講座 開催
 - 虐待・DVの早期発見、早期介入を！
 - 地域の寄り添いで、育児困難の軽減をはかりたい
 - 女性の心の健康を維持するために
レスパイトの時間を確保
-
- 日本のシングルマザーの生活費は、世界でも低い水準
 - シングルマザーのワークライフバランスは、無し！
 - シングルマザーの「自分の時間」は、無し！
 - 女性と子どもの貧困は、深刻！





支援を通して見えてきた DV被害女性と子どもの貧困





ami-ami 前庭





家庭訪問型事業開始 2019～

ホームスタート(ロビン)

- 対象: 未就学児がひとりでもいる家庭
- 対象地区: 東京都内
- 利用者: 希望者

安心子育て事業(もふもふ)

- 対象: 未就学児のいる要支援家庭
- 対象地区: 荒川区内
- 利用者: 子ども家庭支援センターより要支援家庭として認められた家庭

家庭訪問型子育て支援事業(ポコ・ア・ポコ)

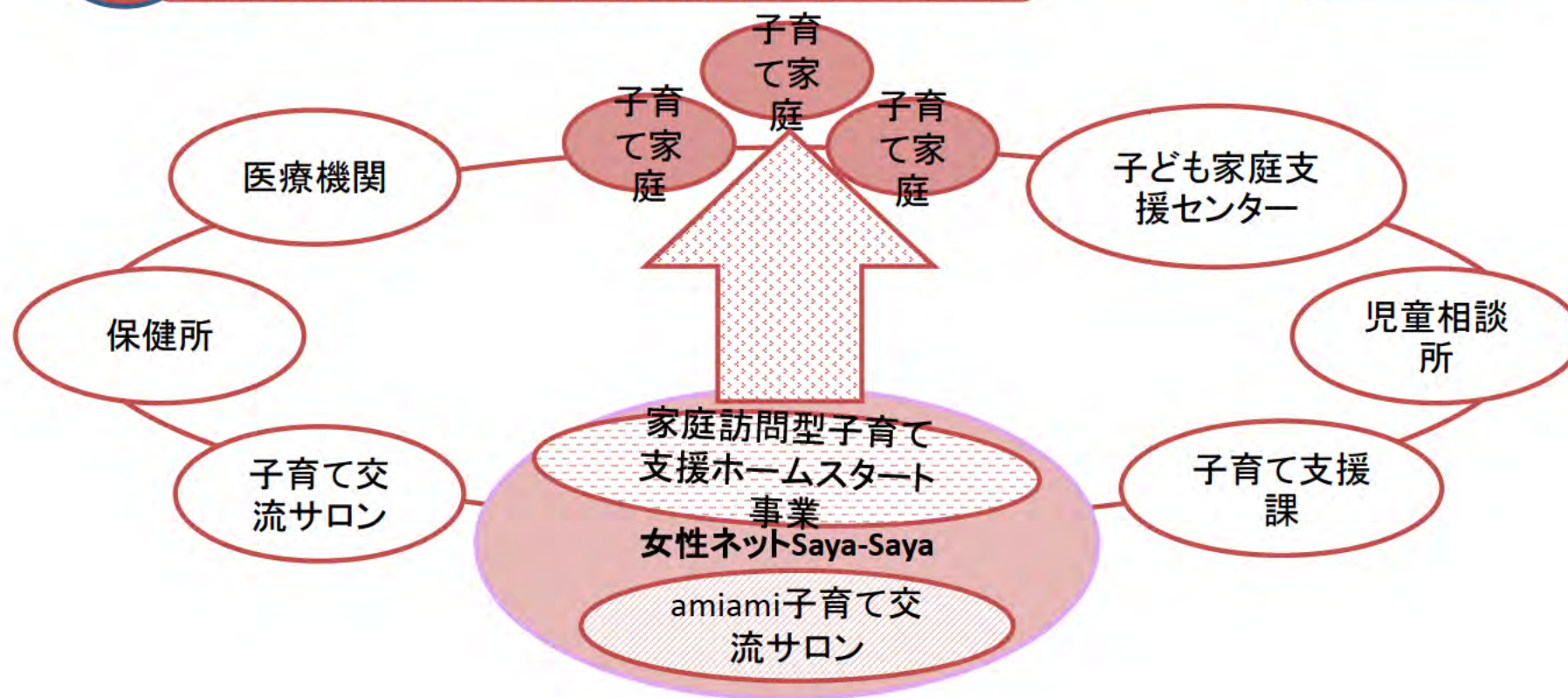
- 対象 小学低学年までの子どもがいる要支援家庭
- 対象地区: 原則東京都内
- 利用者: DV被害者養育困難家庭

家庭訪問型子育て支援ホームスタート

目的

孤独感や孤立感の解消/育児の悩みの解消
気持ちの安定/子育ての楽しさを実感/地域のつながり

虐待防止





DV被害者支援の連携プログラム

DV被害者支援プログラム



心理教育プログラム(女性と子ども)
+
女性の治療・セラピー
子どもの治療・セラピー

加害者更生プログラム

刑罰のダイバージョンとしての
心理教育

その後:必要であれば
加害者の治療・セラピー

面会交流プログラム

第三者機関として
安全・安心に親に会うための子どもの権利

加害者更生プログラムファシリテーターのOK
+子どもセラピストのOK
+被害者支援のスタッフのOK

つなぐ・ツナグ #当事者が、地域の中に声を上げて！
地域の民間団体大集合のお祭り！





2020年は、
オンラインで
全国をつなぎました